

## エ 混合ふんたい肥

施用するたい肥の成分含量				
混合ふんたい肥 (N・Kたい肥・平成14年分析)				
窒素	リン酸	カリ	C/N比	窒素の推定肥効率
2.7	4.2	2.2	9	40

を2,000kg/10a施用する場合

① たい肥2,000 kg/10a施用したときのたい肥からの成分供給量 (kg/10a)

	たい肥施用量		成分含量		肥効率	
窒素	2,000	×	0.027	×	0.4	= 21.6
リン酸	2,000	×	0.042	×	0.6	= 50.4
カリ	2,000	×	0.022	×	0.8	= 35.2

② たい肥2,000 kg/10aを施用したときの施肥量 (kg/10a)

	成分施用量		たい肥からの成分供給量		施肥量
窒素	30.2	-	21.6	=	8.6
リン酸	39.4	-	50.4	=	-11.0
カリ	39.2	-	35.2	=	4.0

① 土づくり効果も期待して10a当たり2,000kgを施用すると、施肥量は、窒素 8.6kg (62.6%減肥)、カリ4.0kg (89.8%減肥)の施用となる。リン酸は11.0kg必要量を上回るが、通常は窒素に合わせた施肥でよい。

しかし、リン酸が蓄積していて、リン酸の過剰施用を避けたい場合は、たい肥の施用量を減らし、その施用量を1,563kg/10a ( $39.4 / (0.042 \times 0.6)$ )とする。その時の化学肥料の施用量は、窒素13.3kg/10a、リン酸0kg/10a、カリ11.7kg/10aとなる。